

食の安全における  
消費者 事業者 メディア 行政  
の役割

日和佐信子

はじめに  
消費者をめぐる現状  
事業者の問題  
メディアの問題  
行政への期待

## はじめに

- カナダレジーナ大学の食品安全ランキング 2008
- The overall rankings of OECD countries are:
  - 1.Unaited Kingdom
  - 2.Japan
  - 3.Denmark
  - 4.Australia
  - 5.Canada
  - 6.Finland
  - 7.United States
  - 8.Switzerland
  - 9.Norway
  - 10.Germany

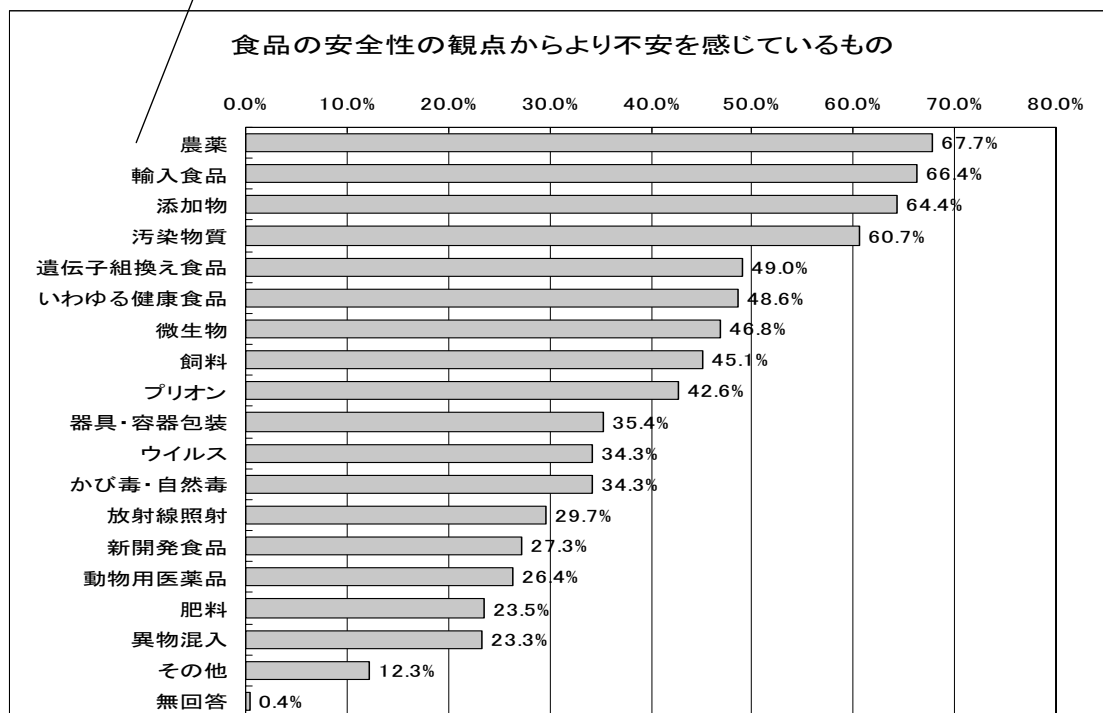
消費者をめぐる状況

# ある発言

「とろけるスライスチーズは添加物  
でとろけやすくしているから、私  
はいつも普通のスライスチーズ  
を買っています」

## 関係者間のリスクのとらえ方の違い(参考)

食品の安全性の観点から、6割を超える人が「農薬」、  
「輸入食品」、「添加物」、「汚染物質」に不安



食品安全モニター・アンケート調査「食の安全性に関する意識調査」から一部抜粋(平成15年9月実施)

# 食品の安全性の観点から感じて いる不安の程度

平成20年調査

- 1 有害微生物(細菌・ウイルス)
- 2 汚染物質(カドミウム、メチル水銀など)
- 3 農薬
- 4 家畜用抗生物質
- 5 BSE(牛海綿状脳症)
- 6 遺伝子組み換え食品
- 7 食品添加物
- 8 いわゆる健康食品

## 食品をめぐる問題

- BSE
- 遺伝子組み換え食品
- 農薬・残留農薬
- 食品添加物
- 健康食品

# 初めが肝心

初めにインプットした情報を修正するのは困難

- 食品添加物 保存料 着色料・・・自主的使用基準
- 農薬  $\Leftarrow \Rightarrow$  無農薬・・・自主的使用基準
- 遺伝子組み換え食品 情報の不足
- BSE 全頭検査＝安全性の証明

## リスク分析の難しさ

- わかりにくいリスクの考え方
- 100%安全を証明することは難しい
- 食品には全てリスクがある
- 化学物質の危険性は量で決まる
- リスク評価とリスク管理の分離
  
- 白か黒かの方が分かりやすい
- 危険性をごまかすための論理ではないのか

## 事業者の問題

### 消費者に迎合した対応

- 遺伝子組み換えでない
- 保存料無添加
- 商品の自主回収
- 消費者対応窓口の問題  
必要以上にへりくだる

## わかりやすい説明と情報の公開

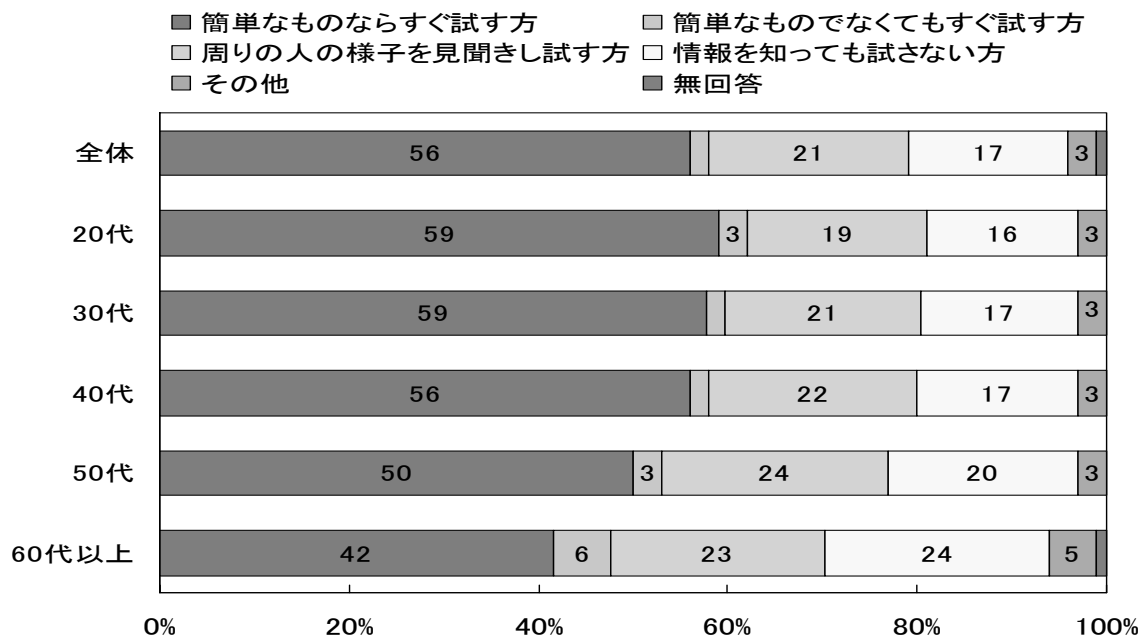
- 自社にとってイメージの悪い言葉は使わない  
したがって何を説明しているのか不明
- デメリット情報も公開を
- 商品表示の見直しが必要  
イメージ優先 心地よい言葉の多用  
わかりやすく、正直な表示を

## 事業者の自立

- 業界横並びは止めよう
- 事業者も自身の考えや立場をはっきり云おう  
消費者、行政、マスコミに
- 消費者とは対等な関係を築こう  
へりくだるのでも見下すのでもなく

# メディアの問題

## マスコミの「健康に良い食品」の情報に対する対応



出所: 日本生協連「体に良い?食情報と私たちの食生活アンケート調査」 インターネット調査 2003年11月



食品の安全性に関する情報の入手先  
平成20年食品安全委員会モニター調査

マスコミ	87.6%
国の機関	58.5%
保健所など地方自治体	35.3%
インターネット	31.6%
大学や国の研究機関・研究者	21.7%
食品メーカー	19.5%
消費者団体	18.3%

- 影響の大きいことへの自覚が必要
- 科学を基礎とした正確さが基本
- 取材先、特にコメント者の選択が問題
- 読者を不安に駆りたてるのではなく、読者の疑問にこたえて、役に立つ情報の提供を

## 行政への期待

### もっと消費者にアピールを

- もっとマスコミに露出してアピールを
- 不都合な仕組みの改善を
  - 商品回収と安全性
  - 農薬残留基準違反とADI
  - 期限表示、原産地表示などで得た不当利得の剥奪

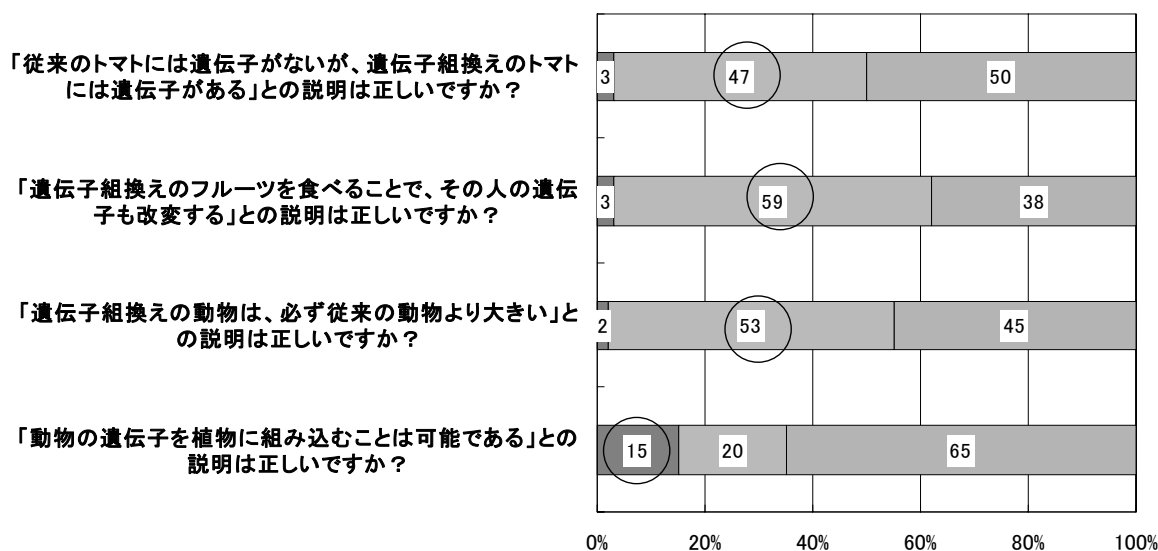
# まとめに変えて

- 正確な情報で意識変化  
上野製薬の取り組み  
保存料啓発パンフレットのアンケートから  
保存料を避ける人36%⇒18%

消費者が正しい知識を身につけることから始まる

【資料】日本生活協同組合連合会

## 遺伝子組換えの知識



○ は正解

■ 正しい ■ 間違い ■ わからない